

平成 29 年 11 月 14 日

第三管区海上保安本部

平成 29 年度神奈川県国民保護共同実働訓練

平成 29 年 11 月 9 日（木）神奈川県藤沢市江の島周辺で神奈川県国民保護共同実働訓練が行われました。

この訓練は、2020 年東京オリンピック競技大会開催を見据え、神奈川県下の危機管理関係機関のテロ災害等への対応能力向上と体制構築の強化を図ることを目的として企画されたもので、セーリング競技会場となる江ノ島ヨットハーバー周辺を訓練会場とし、「最寄りの鉄道駅での爆破事案」、「ヨットハーバー内での化学剤散布事案」が発生したことを想定し、各機関の連携した初動対応、被災者の救出・救護、犯行グループの逮捕などの実践訓練をしました。

第三管区海上保安本部は、横須賀海上保安部、湘南海上保安署、羽田航空基地、羽田特殊救難基地とともに訓練に参加。

ヨットハーバーのヨットハウス内にサリンが撒かれたとの情報を受け、海上に警戒区域を設定してヨットハーバー周辺海域のヨットを横須賀海上保安部巡視艇うらゆき、くりかぜが安全海域まで避難誘導、また、神奈川県から支援要請を受け、羽田航空基地からヘリコプターが救助資機材を緊急搬送、湘南海上保安署に前進配備していた特殊救難隊が消防及び警察の救助部隊と合同でヨットハウス内に倒れている被災者を救出し、現地救護所へ搬送したほか、小型船で海上への逃走を企てた化学剤散布の犯行グループを、巡視艇くりかぜが警察警備艇と合同で追跡強行接舷して捕捉する訓練を行いました。

【巡視艇によるヨット避難誘導】



【航空機による資機材搬送訓練】



【特殊救難隊の救出訓練】



【海上逃走船捕捉訓練】

